

## 高倉健さん「希望と夢を忘れず、生きて」

11月に亡くなった俳優高倉健さんの追悼映画上映会が22日、西区統合5の西区民センターで開かれた。約200人が参加。上映に先立ち、高倉さんと交流があった同区在住で障害者支援施設施設長の軸原博文さん(62)が、阪神・淡路大震災発生の約1カ月後にメッセージが届き、励まされた逸話を披露した。

同センターの主催。軸原さんは赤穂市出身で、高倉さんが大石内蔵助を演

### ■ 西区民センター

## 追悼映画上映会を開催



じた「四十七人の刺客」の撮影時に案内役を務めた。1995年の震災直後、

高倉健さんとの交流について話す軸原博文さん  
西区民センター

## 震災時のメッセージ紹介

神戸・三宮にあった映画館「アサヒシネマ」の上映再開に合わせて高倉さんに神戸の様子を伝えるフアックスを送り、「神戸市民に励ましを」と依頼。すぐに肉声の入ったテープが届いたという。

「明日への希望と夢を忘れず、精いっぱい今日を生きられてください」など約10分間の言葉は、アサヒシネマで流された。軸原さんは「その声を聞き『周りに気兼ねせず泣けた』という被災者も多かった」と振り返り、高倉さんの死に「胸にぽっかり穴があいたようだ」と悼んだ。

(阿部江利)